

フーリエ変換赤外分光光度計の購入 調達仕様書（売買）

お知らせ

① JAXA 標準約款の適用について

・契約条件等は、取引基本契約書その他契約書等別の定めがない限り、JAXA 標準約款によります。
ご希望の方は当機構調達部までご連絡ください。また、次のURLからダウンロードすることができます。

・JAXA 標準約款 : http://stage.tksc.jaxa.jp/compe/fundamental_j.html

・JAXA 調達部 : TEL050-3362-4521

〒305-8505 茨城県つくば市千現 2-1-1 筑波宇宙センター

② JAXA コンプライアンス総合窓口について

・当機構との業務に関し、社会規範や倫理、法令上問題と感ずることにつき、どなたでも相談することができます。窓口は次のとおりです。（匿名可）

(1) JAXA 内コンプライアンス総合窓口

E-MAIL : JAXAsodan@jaxa.jp TEL : 090-1660-0191

〒101-8008 東京都千代田区神田駿河台 4 丁目 6 番地御茶ノ水ソラシティ

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

総務部法務・コンプライアンス課「コンプライアンス総合窓口」

(2) 指定弁護士 岩淵正紀（ふじ合同法律事務所）

E-MAIL : JAXAtsuho@siren.ocn.ne.jp TEL : 03-5568-1616

2019 年 7 月

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

1. 目 的

本仕様書は、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（以下「機構」という）航空技術部門コアエンジン技術実証プロジェクトチームが耐環境コーティング技術の研究開発に使用する フーリエ変換赤外分光光度計の購入について定める。

2. 適用文書

次に掲げる文書は、この調達仕様書で規定された範囲内で、この調達仕様書の一部をなす。なお、以下の文書については最新版が適用される。

- (1) 検査実施要領（安全・信頼性管理部長・契約部長通達 16－1 号）
- (2) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）

3. 納入場所

〒182-8522 東京都調布市深大寺東町 7－44－1

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センター 航空推進 1 号館

4. 納入期限

2019 年 9 月 30 日（月）

5. 納入品

以下を納入すること。

フーリエ変換赤外分光光度計	1 台
---------------	-----

6. 仕様

本フーリエ変換赤外分光光度計は、フーリエ変換赤外分光装置とデータ処理装置から構成され、それぞれ以下の仕様を満たすこととする。

6.1 フーリエ変換赤外分光装置の仕様

- (1) 干渉計の様式：マイケルソン型干渉計を搭載し、4800 回/秒以上のダイナミックアライメント、オートアライメント機能を有すること。
- (2) 干渉計のミラータイプ：平面鏡
- (3) 光学系の構造：密閉乾燥型構造で振動衝撃吸収機構を有すること。
- (4) 最高分解能：0.8 cm^{-1} 以上
- (5) S/N 比：35,000：1 以上
- (6) 測定波数範囲：350～7000 cm^{-1} 以上
- (7) 光源：高輝度セラミック光源または同等の光源
- (8) 参照レーザー：長時間使用可能なダイオードレーザーまたは同等の光源
- (9) 検出器：測定波数範囲を十分にカバーする室温型検出器
- (10) A/D コンバータ：24bit 以上の A/D 変換器
- (11) 試料室サイズ：試料室内の光路長 10 cm 以上を確保できること。

- (12) 装置サイズ・重量：卓上形であること。
- (13) その他：赤外光源等の交換を容易に行えること。
- (14) 拡張機能：1回反射型 ATR ユニットを装着すること。

6.2 データ処理装置の仕様

- (1) データ処理装置：ノート PC
- (2) CPU：Intel Core i5 以上
- (3) メモリ：4 GB 以上
- (4) ドライブ：DVD/CD-RW コンボドライブ以上を装備すること
- (5) OS：Windows 10 Pro 64bit 以上
- (6) インターフェログラム：インターフェログラムをスペクトルと1つのファイルに保存できること。
- (7) 言語：日本語、英語を使用できること。
- (8) モニターサイズ：15 インチ以上
- (9) スペクトル処理：測定条件設定、スペクトルの四則演算、差スペクトル、スペクトルの拡大・縮小、種々の縦軸変換（K-K、KM、Abs/T%、横軸（波長/波数）変換）、大気補正、ATR 補正、Advanced ATR 補正、ベースライン補正、ピーク検出、ピーク面積・高さ、スペクトルの保存（オリジナルフォーマット、CSV、Jcamp、画像ファイル等）、ライブラリ検索、自社ライブラリ作成、H₂O/CO₂ 除去、データポイントの変更、スペクトルの再処理、オートアライメント（6次式）が可能であること。

7. その他

本仕様書に関する疑義または定めなき事項については機構と協議の上決定するものとする。

以上